

第1回 (2020年度) 日本セラミックス協会功績大賞受賞者

いちのせ のぼる
一ノ瀬 昇氏



一ノ瀬昇氏は、機能性セラミックスの研究開発において、圧電体や半導体、高熱伝導のセラミックスに関わる先進的な研究などを通じて電子材料用セラミックス分野の発展に多大な貢献するとともに、単結晶作製技術やバイオセラミックスの発展にも大きく寄与した。本協会に於いては、1982年以降、20年間にわたって理事を務め、特に、出版事業の推進に、出版理事（1982年度～1983年度）として大きく貢献した。また、1995年度～1998年度には副会長、1999年度には会長として協会の発展に大きく貢献した。加えて、電子材料部会の発展にも、部会長として尽力した。2004年度からは顧問として、2010年度以降は経営諮問会議委員として会長に適切な助言を行い、協会運営に大いに貢献した。

以上、同氏は本会における活動を通じてセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げるとともに、長年にわたって日本セラミックス協会の活動に極めて多大な貢献をした。よって、日本セラミックス協会功績大賞として表彰する。

略歴 1959年3月早稲田大学工学部応用物理学卒業、同年4月(株)東芝入社、1972年(株)東芝総合研究所主任研究員、1979年(株)東芝照明事業部技術部長、1981年(株)東芝総合研究所研究主幹、1982年(株)東芝照明事業部技師長、1985年早稲田大学工学部教授、2006年早稲田大学名誉教授、日本電子材料技術協会会長、学振166委員会委員長、粉体粉末冶金協会副会長、電気化学会理事、日本照明学会理事、IEE Japan Chapter CPMT 会長、電気学会無機誘電・絶縁材料調査委員長、科学技術会議専門委員、科学技術庁無機材質研究所運営委員

受賞歴 1975年5月(社)粉体粉末冶金協会技術賞、1978年10月米国セラミック学会 Richard M. Fulrath Awards、1985年5月(社)窯業協会技術賞、1993年5月日本照明学会研究業績賞、1994年5月米国セラミック学会フェロー表彰、2001年4月文部科学大臣賞、2002年4月スガウエザリング技術振興財団技術功労賞、2002年5月日本ファインセラミックス協会国際賞、2004年米国セラミック学会 John Jeppson Award、2012年米国セラミック学会 Distinguished Life Membership、2014年11月日本結晶成長学会技術賞、電子セラミック・プロセス研究会に一ノ瀬賞創設（2019年6月22日第1回授賞式）

協会歴 1982年度～2003年度理事（1995年度～1998年度副会長、1999年度会長）、2004年度～顧問、2011年度～名誉会員